

ゆりぐみだより

2021年 7月 第2号

七夕に向けて子ども達に願い事を聞いてみました。「〇〇になりたい」「〇〇ができるようになりたい」と話してくれたり、「コロナが早く終わってほしい」「弟の面倒を沢山みてあげる」と言う子もいました。子ども達の願いが叶うといいですね。

遊びの天才

毎日様々な遊びを考えて楽しんでいる子ども達。時には保育士が驚くような面白いアイデアが飛び出します。それぞれが違う遊びをしている時もあるれば、全員で同じ遊びをしている時もあります。ひとつの遊びを数日かけて少しずつ変化させ、段ボールやレジャーシートを広げて家を作り、トイレやお風呂、ベットなど様々な物を作ったり、線を書いて間取りを作ったりと楽しんでいます。段ボールやシートの上は家の中になるので靴を脱ぐのですが、気付くと園庭を靴下で走り回っていることもあります。砂場の中にも家を作り、穴を掘ってシートを乗せるとステキなベットの出来上がり。「先生寝ていいよ」と言われ横になってみると、砂の柔らかさがとても気持ちいいです。「ここに〇〇があったらな」とつぶやくこともあり、色々想像を膨らませているようです。子ども達が自由な発想で遊びを広げていけるよう、時には声を掛けずに見守ったり、ちょっとしたつぶやきをなるべく形にして遊べるよう心掛けています。遊びの中で考えたり、やってみたりしながら学ぶ事も沢山あるので、これからも様々な素材を使って遊びが楽しめるような保育を行ってきたいと思います。



おいしくな~れ



食育の一環で、様々な食材に触れる機会を多く取り入れています。匂い、触感を楽しんだり、子ども達の目の前で切って断面を見比べたり、水分量や硬さなどにも興味をもって触れることを楽しんでいます。様々な食材に触れた時に、子ども達がどんな反応を見せてくれるのかも楽しみで、野菜などを用意しながら保育士もワクワク!!きゅうりとズッキーニを見比べたり、タケノコの皮むきにも挑戦しました。1枚ずつ丁寧にむいて、何枚むけるか数えたり、半分に切って見せると「魚の骨みたい」と言ったり。また、タケノコの硬さを感じ、投げても割れないことに驚いていました。また、絵本「そらまめくんのベット」を見た後に、そらまめを割ってみました。絵本のように「ふわふわ」という感想を期待していたのですが、あまりふわふわはせず、触った後だったのもあり「ぺとぺと」という感想が多かったです。

5月にはペットボトルに土と水を入れて、稲の苗を植えました。次の日から「お米になったかな?」と米が実るのを楽しみにしている子ども達。また、きゅうり、トマト、ピーマン、オクラ、枝豆、すいか、とうもろこしなどの種や苗を植えて栽培も行っています。何を植えているかは子ども達には教えず、実ってからの楽しみとしました。「おいしくな一れ、おいしくな一れ」とおまじないを唱え、毎日水をあげながら生長を観察しています。梅ジュース作りにも挑戦し、「かき氷にかけて食べてみようね」と楽しみにしています。



45日後



15日後

